

施策評価管理シート

施策体系	政策	1	支え合い健康でいきいきと暮らせるまち	2017(平成29)年6月作成	
	基本施策	2	保健・医療・福祉のネットワークづくり	担当部局名	部局長名
	施策	2	健康づくり	福祉子ども部	森嶋 和宏

1. 施策の基本方針 Plan

○ 市民が主体的に行う健康づくりの取組を総合的に支援するとともに、社会全体が相互に支え合いながら、市民の健康を維持・増進する環境を整備します。

○ 食生活の改善や運動習慣の定着等により健康を増進することに重点を置いた取組とともに、合併症の発症等重症化を予防することに重点を置いた対策の推進により、健康寿命の延伸を実現し、自立した社会生活を営むことを目指した心身機能の維持及び向上につながる対策に取り組めます。

2. 現状と課題 Plan

○ こころと体の健やかさを保ち、自分らしく暮らせる健康寿命の延伸を図っていくためには、一人ひとりが食生活や運動習慣など適切な生活習慣を保持するとともに、疾病の早期発見、早期治療による重症化の予防を行うことが大切です。

○ 歯と口腔の健康は、子どもの健やかな成長や、生涯を通じて健やかで心豊かな生活を送るために欠かせないものです。また、全身の健康の保持・増進にも影響を及ぼすことが示されるなど、歯と口腔の健康づくりの推進は、一層重要になっています。

○ 施策指標（目標）及び達成状況 Plan Do

施策指標（目標）の内容（単位）		現状値 (H26)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	進捗率
健康な暮らしを送っていると感じている市民の割合（％）	目標	-	-	-	83.0	0.0%
	成果	80.3	78.8			
特定健康診査受診率（国民健康保険）（％）	目標	-	-	-	45.0	36.8%
	成果	35.5	39.0			
大腸がん検診受診率（％）	目標	-	-	-	38.0	10.7%
	成果	20.3	22.2			

3. 課題解決への取組内容（平成28年度） Plan Do

計画	実績及び主な成果
<ul style="list-style-type: none"> 健康づくりに対する関心を高めるための啓発事業に取り組むとともに、ハイリスク者に対するきめ細かな相談、指導を進めます。 がん検診受診率向上を図るため、地域での普及、啓発に取り組みます。 特定健康診査受診率向上を図るため、医療機関と連携した取組を進めます。 「名張版ネウボラ」の充実に取り組むことにより、妊婦、産婦、乳幼児等に対する健康づくりの啓発、指導を行います。 	<ul style="list-style-type: none"> 新たに健康づくりポイント制度「名張ケンコーマイレージ」を開始し、健康づくりに無関心な層に対する啓発を行うとともに、引き続き住民主体の健康づくりを推進するための「まちじゅう元気プロジェクト」、生活習慣病予防重点プロジェクト「ばりばり現役プロジェクト」に取り組み、がん検診等の受診率向上やハイリスク者の生活習慣の改善につなげることができました。 がん検診受診率について、胃がん検診、乳がん検診、子宮がん検診において受診率が向上しています。 特定健康診査受診率、特定保健指導実施率ともに向上しています。

4. 成果を踏まえた課題や現状 Check

・ 全体として数値目標の達成率は上昇していますが、一人ひとり自らの健康づくりに対する関心の高まりは十分ではありません。

・ 地域における健康づくりの担い手育成や、地域での健康づくり事業の推進に取り組んでいますが、地域によって意識や姿勢にばらつきがあり、全地域を一定の水準とすることは困難な状況であります。

5. 課題解決への取組内容（平成29年度） Action

・ 引き続き健康づくりに対する関心を高めるための啓発事業に取り組むとともに、ハイリスク者に対するきめ細かな相談、指導を進めます。

・ がん検診受診率向上を図るため、地域での普及、啓発に取り組みます。

・ 特定健康診査受診率向上を図るため、各医療機関に受診勧奨を依頼するなど、連携した取組を進めます。

・ 「名張版ネウボラ」の充実に取り組むことにより、妊婦、産婦、乳幼児等に対する健康づくりの啓発、指導を行います。

6. 行政評価委員会による総合評価 Check

引き続き、健康づくりに対する市民の関心を高められるよう、関係機関と連携して、市民に対する健康づくりのさらなる啓発に取り組むこと。